

# Jリーグ新規加盟クラブにおける第四種年代への「サッカーの普及促進」に対する貢献

## The study of contribution to the "promotion of football" for the fourth generation in the new member of J League

1K09B046 尾原 和樹

指導教員 主査 平田竹男 先生 副査 中村好男 先生

### 【背景】

2005年から2011年の間に10クラブがJリーグに新規加盟した。しかし、それらのクラブの現状は、スタジアム稼働率が40%以下、営業収入J2平均以下、昇格争いをするクラブなし、と成功しているとは言えない。Jリーグの理念の一つに「日本サッカーの水準向上及びサッカーの普及促進」がある。そのためクラブはホームタウン活動を行い、その活動対象で最も比重が大きいのは第四種（12歳以下で構成されるチームで、ほとんどが小学生）の年代である。

### 【目的】

第四種年代の「サッカーの普及促進」に対して貢献しているかどうか検証するために、クラブのJリーグ加盟前後における第四種年代への「サッカーの普及促進」に関連した変化の有無を明らかにすることを本研究の目的とする。

### 【方法】

「サッカーの普及促進」に対する新規加盟クラブの貢献を明らかにするため、2005年～2011年に新規加盟したクラブがある10県（徳島・群馬・愛媛・熊本・岐阜・栃木・富山・岡山・福岡・鳥取）を、3点の方法から、Jリーグ参入前、参入後、参入時における数値の変化を分析する。  
①道府県別第四種選手登録者数（2005年～2011年）の推移、登録者数増加率（対象年/前年×100-100。※前年と比較できない徳島・群馬は除く）。②都道府県別第四種チーム数の推移、チーム数増加率。③第四種サッカー人口密度（第四種選手登録者数÷児童数×100）推移、サッカー人口密度増加率。分析には、日本サッカー協会が集計している「年度別登録者数一覧（都道府県別種別）」、独立行政法人統計センターによる「政府統計の総合窓口」の「学校基本調査小学校都道府県別児童数」を用いた。

### 【結果】

選手登録者数の推移における変化では、愛媛県、岐阜県を除く8県に増加もしくは前年減少からの停滞といった変化がみられた。増加率は、岐阜以外の7件に上昇傾向があった。加盟時に増加の変化が見ることができなかった。岐阜は、2006年、2010年に増加していた。チーム数の推移における変化では、徳島、群馬、愛媛、富山、岡山、鳥取に増加もしくは前年度減少からの停滞といった変化がみられた。増加率では、熊本、岐阜を除く6県に上昇傾向があった。岐阜は①と同様2006年と2010年に増加していた。サッカー人口密度の推移における変化では、岐

阜を除く9県において増加の変化がみられた。増加率は、分析した8つの県すべて上昇傾向があった。

### 【考察】

加盟前後で選手登録者数が増加することは、サッカーを始める・続ける際の動機として新規加盟したJクラブの存在があるということ（動機）、チーム数が増加することは、サッカーが盛んになってきて、サッカーをやりたいと思う児童が増える可能性が新規加盟により左右されること（潜在性）、サッカー人口密度が増加することは、サッカーがその県において盛んになってきていること（人気）を表すと考える。したがって徳島、群馬、富山、岡山、鳥取では3つの面からクラブは貢献しており、愛媛では主に潜在性、熊本では動機と人気、栃木では動機、福岡は動機と人気の面で貢献していると言えるのではないかと考える。また、岐阜県は2006年、2010年と増加の変化があったことから、ワールドカップが、クラブのJリーグ加盟以上に影響を及ぼしていると考えられる。岐阜を除く9県で新規加盟クラブにおける第四種年代の「サッカーの普及促進」への貢献に関する変化があると考えられる。また全ての県でサッカーが盛んになっていると言える。踏み込んで考えると、「第四種年代への貢献」を活用して、新規加盟クラブのさらなる発展へと繋げることができるのではないかと考える。例えば、「小学生以下100円観戦チケット」の販売や、「親子専用シャトルバス」の運行をする。サッカーへの関心を高めることに成功している第四種年代がスタジアムを身近に感じることができる仕組みづくりをすれば、新規加盟クラブは更に発展するのではないかと考える。

### 【結論】

本研究によって、第四種選手登録者数・チーム数・サッカー人口密度のいずれかにおいて、調査対象の10県（徳島県・群馬県・愛媛県・熊本県・岐阜県・栃木県・富山県・岡山県・福岡県・鳥取県）のうち、岐阜県を除く9県に、新規加盟クラブにおける第四種年代への「サッカーの普及促進」に対する貢献に関連する、加盟前と加盟後の選手登録者数・チーム数・サッカー人口密度の増加の変化、もしくは減少に歯止めをかける停滞の変化があったと考えられる。また、第四種年代をスタジアムに呼び込む仕組みづくりをすれば、新規加盟クラブの更なる発展へ繋げることができるのではないかと考える。